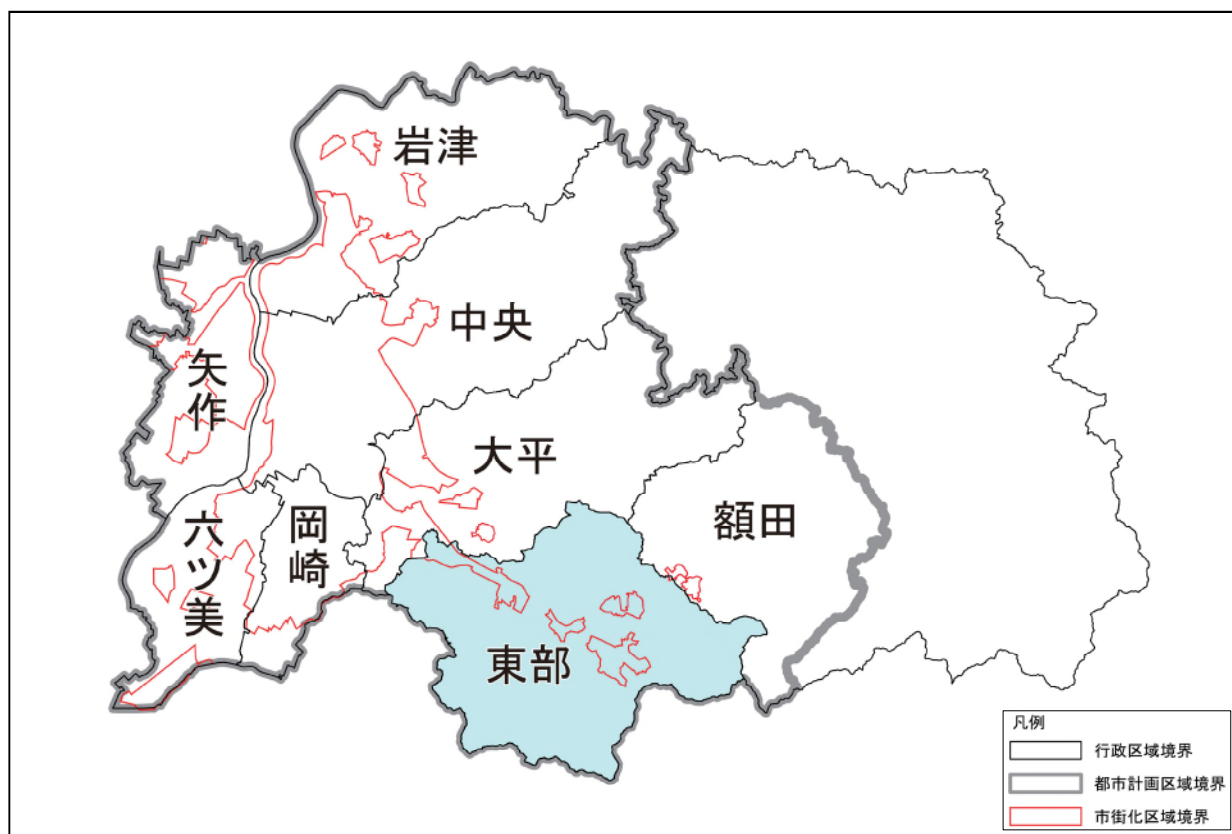


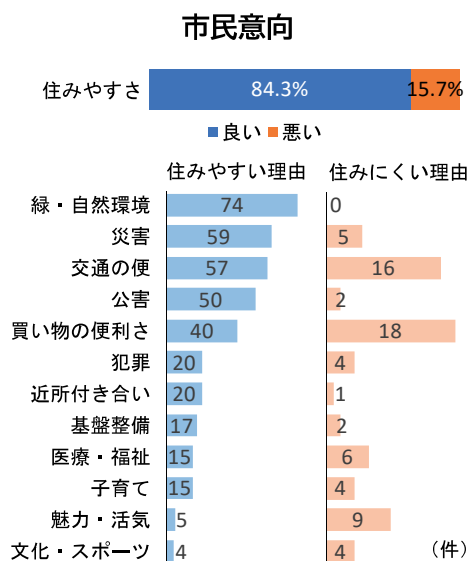
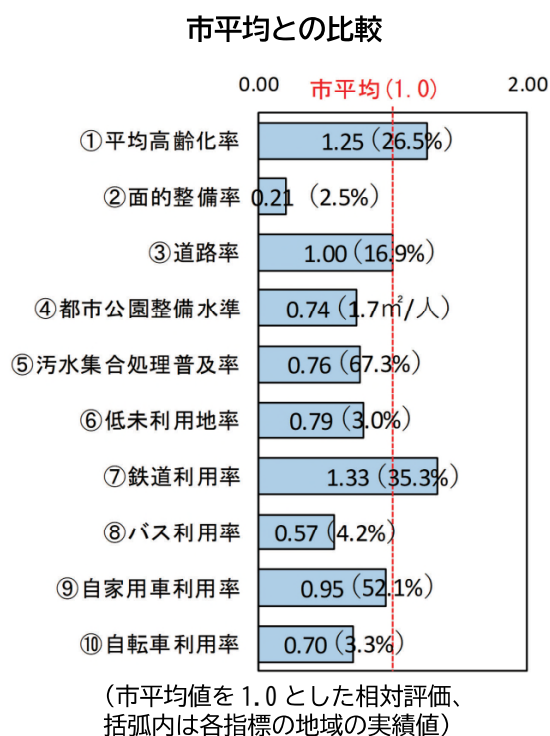
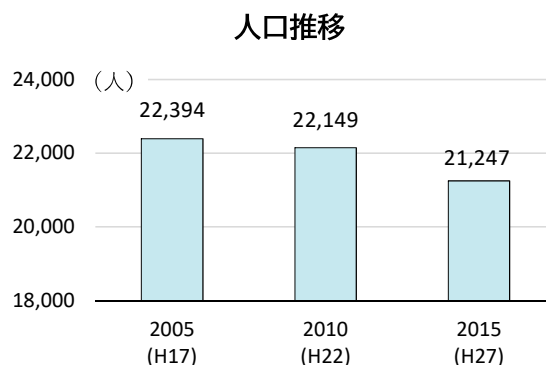
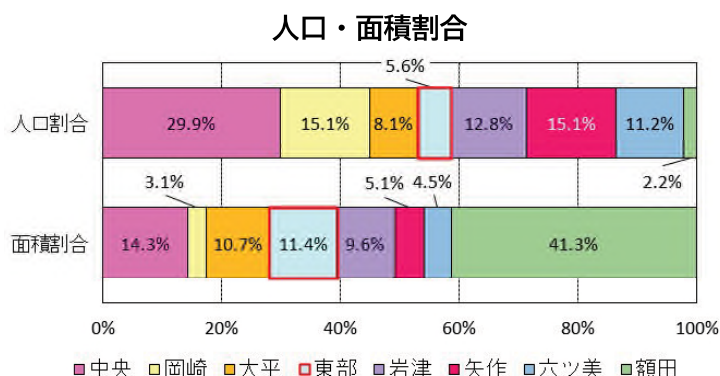
東部地域

国道1号、鉄道沿いには市街化区域※が指定されており、その南北の市街化調整区域※には森林が広がり、川筋には集落、農地が分布しています。



2015年人口： 21,247 人（市域全体の5.6%）
面 積： 4,419 ha（市域全体の11.4%）

（１）地域の現況



現況のまとめ

- ① 地区内の3つの駅を中心に市街地が形成されています。(現況)
- ② 本宿駅周辺に広域観光交流拠点を位置づけ、広域交通の利便性を生かしたまちづくりを進めています。(現況)
- ③ 市街地の北側と南側には、森林や農地などの豊かな自然環境があります。(現況、意向)
- ④ 本宿駅を地域拠点に位置づけ、生活利便性を支える機能の維持・集積を図っています。(現況)
- ⑤ 旧東海道藤川宿や法蔵寺、山中城址などの地域資源が点在しています。(現況)
- ⑥ 地域全体で土砂災害へのリスクがあります。(現況)
- ⑦ 人口は減少傾向にあり、高齢化率は市平均以上となっています。(比較)
- ⑧ 面的整備率が市平均を下回っています。(比較)
- ⑨ 公園、下水道の整備率は市平均以下となっています。(比較)
- ⑩ 鉄道利用率は市平均以上となっていますが、バス利用率は市平均を大きく下回っています。(比較)
- ⑪ 国道 473 号バイパス、岡崎東インターチェンジの開通により、広域的交通機能が高まりました。(現況)

(現況)：地域の現況 (比較)：市平均との比較

(意向)：アンケート、説明会からの市民意向

（２）まちづくりの課題と目標

<東部地域の将来像>

国道１号沿いの市街化区域※では恵まれた交通条件や旧東海道藤川宿などの歴史・文化的資源を生かしながら、本市の東の玄関口づくりを進め、地域の北側と南側では自然環境を保全するまちづくりを目指します。

まちづくりの課題	まちづくりの目標
主要課題１ 広域的なネットワークの変化への対応 ・本宿駅周辺の交通利便性を生かした拠点づくり （現況のまとめ①②⑪）	目標１ 広域交通網へのアクセス利便性に優れた本宿駅周辺に、広域観光交流施設の立地による多様な交流と賑わいの創造
主要課題２ コンパクトでスマートな都市づくりへの対応 ・交通結節機能※の充実（現況のまとめ①⑩） ・無秩序な市街化の抑制（現況のまとめ③） ・自然環境の保全と活用（現況のまとめ③）	目標２ 本宿駅周辺の生活利便性の向上と、豊かな自然環境の保全・活用による都市と自然の調和
主要課題３ 住み続けられる居住環境※の質の向上への対応 ・本宿駅周辺の国道１号などの広域交通網を生かした拠点づくり（現況のまとめ①②④） ・道路などの基盤施設※の充実（現況のまとめ⑨） ・新たな居住環境の整備（現況のまとめ②⑦⑧）	目標３ 鉄道、幹線道路を軸とした利便性が高く住み続けられる居住環境の形成
主要課題４ 自然・歴史・文化を生かした都市の活性化、観光振興への対応 ・藤川宿の歴史的なまちなみ景観の形成や旧東海道の松並木の保全（現況のまとめ⑤） ・額田地域を含めた賑わい、交流の促進（現況まとめ②⑩⑪）	目標４ 広域観光交流拠点により高まる回遊性を生かし、旧東海道藤川宿や法蔵寺、山中城址などの地域資源を活用した広域的な観光振興による地域の活力の向上
主要課題５ 大規模自然災害などに備えた安全で安心な都市づくりへの対応 ・災害に備えたハード・ソフト対策による被害を最小限に抑える取組み（現況のまとめ⑥）	目標５ 市民などとともに土砂災害などの危険性を踏まえたハード・ソフト対策の推進による自然災害への対応

（３）まちづくりの方針

土地利用※に関する方針と主な施策

1 地域の特性に応じた良質な居住環境※の形成 目標2 目標3

良質な居住環境の形成

- ・東西に連なる市街地には専用住宅地と一般住宅地を配置し、良質な居住環境の形成に努めます。

住居系市街地の形成

- ・市街化調整区域※の市街化が見込まれる地区については、適正な土地利用により居住環境の向上を図ります。

2 地域の特性に応じた都市機能※の導入・集積による利便性の高い市街地の形成

目標1 目標2 目標3

広域観光交流拠点と連携した拠点形成・・・1

- ・広域観光交流拠点と隣接する本宿駅周辺には周辺商業地を配置し、広域観光交流拠点のゲートウェイ（玄関口）として、また、地域住民の生活利便性の確保と向上のため、玄関口にふさわしい都市機能と商業施設や医療施設などの日常生活に必要な機能の集積を図ります。

国道1号沿道での適正な土地利用の誘導

- ・国道1号沿道の工業系用途地域※では地域の実情を踏まえて、ロードサイド型商業など沿道サービス型への土地利用を誘導します。

沿道サービス施設の立地誘導

- ・国道1号沿道を沿道複合地として、商業や業務などに係る沿道サービス施設の立地を誘導します。

教育機能の維持・充実

- ・文教・学術地では教育機能の維持・充実を図るため、必要に応じて方策を検討します。

3 多様な交流の拡大に資する観光産業交流機能の誘導 目標1 目標4

広域観光交流拠点の形成・・・2

- ・岡崎東インターチェンジ開通により広域交通機能が飛躍的に高まった本宿駅周辺では、アクセス利便性を生かしながら、広域交流をはじめ多様な交流の拡大に資する広域観光交流施設の立地誘導を図ります。

4 産業振興に資する産業用地の確保・誘導 目標1 目標3

良好な操業環境の保全

- ・国道1号に接して大規模工業施設が立地する地区は工業地として位置づけ、住宅地と区分しながら良好な操業環境の保全を図ります。

5 無秩序な市街地拡大の抑制と市街化調整区域の自然環境の保全 目標2

無秩序な市街化の抑制

- ・市街地の拡散を防止するため、無秩序な市街化を抑制します。

市街化調整区域※の自然環境の保全・活用

- ・生物多様性の保全を図り市民が身近に自然を感じられるように、市街化調整区域の森林や農地などの保全・活用を推進します。

集落環境の維持

- ・地域の東側では森林や農地などの自然環境を保全し、大規模集落地では生活環境※の維持に努めます。

市街地整備※に関する方針と主な施策**1 土地区画整理事業※の確実な推進による良好な市街地の形成****目標2 目標3 目標5****岡崎蓼川南部土地区画整理事業の促進・・・3**

- ・安全で快適な居住環境※を確保するため、岡崎蓼川南部土地区画整理事業を促進します。

（仮称）岡崎本宿・池舞土地区画整理事業の推進・・・4

- ・日常生活に必要な機能の集積と広域観光交流拠点の形成を図るため、（仮称）岡崎本宿・池舞土地区画整理事業を推進します。

2 低未利用地※などの利活用の推進 目標2**良好な住宅地の形成・・・5**

- ・計画的な市街地形成のため、一団の未利用地の土地利用※を検討します。

道路・公共交通に関する方針と主な施策**1 広域道路網※の整備促進、幹線道路網の強化、身近な道路の整備推進****目標1 目標2 目標3****都市計画道路※などの整備**

- ・地域内や地域間の円滑な交通を確保するため、都市計画道路美合線、国道473号バイパス（蒲郡～岡崎間）の道路計画の策定を促進します。
- ・生活利便性や交流機能の向上のため、県道生平幸田線の整備を促進し市道池金本宿線などの整備を推進します。
- ・橋りょうなどの道路構造物は、定期的な点検と計画的な補修・補強を実施することで予防保全を図ります。

2 安全で快適な歩行者、自転車通行空間の確保 目標3**歩行者や自転車の通行空間の確保**

- ・歩行者や自転車利用者が安全で快適に移動できるよう身近な道路の整備を進めます。
- ・通学路交通安全プログラムに基づき、通学路の交通安全対策を推進します。

3 鉄道やバスなどの連携による公共交通ネットワークの構築 目標2 目標3**地域拠点におけるバス交通の連携強化**

- ・地域拠点と支所などを結ぶバス路線の維持・確保を図ります。

公園・緑地に関する方針と主な施策

1 生産緑地※などの自然環境の保全 目標3 目標5

生産緑地の保全・活用

- ・都市農業※の保全やグリーンインフラ※の観点から、生産緑地の保全と活用を推進します。

河川・上下水道に関する方針と主な施策

1 治水・浸水対策の強化 目標3 目標5

河川改修などの促進

- ・洪水による災害の発生の防止、被害の軽減のため、河川改修を促進します。
- ・河川情報の収集と情報伝達体制、警戒避難体制の充実を図ります。

景観・自然環境に関する方針と主な施策

1 景観計画に基づく歴史・文化資源や景観の保全 目標2 目標3 目標4

旧東海道藤川宿の歴史的まちなみ景観の形成

- ・旧東海道藤川宿の歴史的なまちなみの魅力の向上を図るため、地区計画※や建築協定※などを活用し、統一感のあるまちなみ景観の誘導を図るとともに、歴史的景観に配慮し無電柱化やベンチなどの整備に取組みます。
- ・旧東海道の面影のある道路景観を形成するため、松並木の保全、補植に取組みます。

2 無秩序な開発の抑制による自然環境の保全 目標2 目標3 目標4 目標5

市街地近郊の緑の保全・活用

- ・生物多様性の保全を図り市民が身近に自然を感じられるように、市街地近郊の緑地や森林などを保全・活用します。

北山湿地の保全・・・6

- ・生物多様性の保全に努めるため、北山湿地を保全します。

防災に関する方針と主な施策

1 防災都市基盤の強化による災害に強い都市づくりの推進 目標3 目標5

公共施設の耐震化

- ・橋りょうやため池などの公共施設の耐震化を推進します。

防災機能を有する道路や広場などの整備

- ・災害時の地域住民の安全を確保するため、避難路である道路や避難地、火災延焼防止機能を有する広場などの整備を図ります。

2 土砂災害対策の強化 目標5

土砂災害の防止

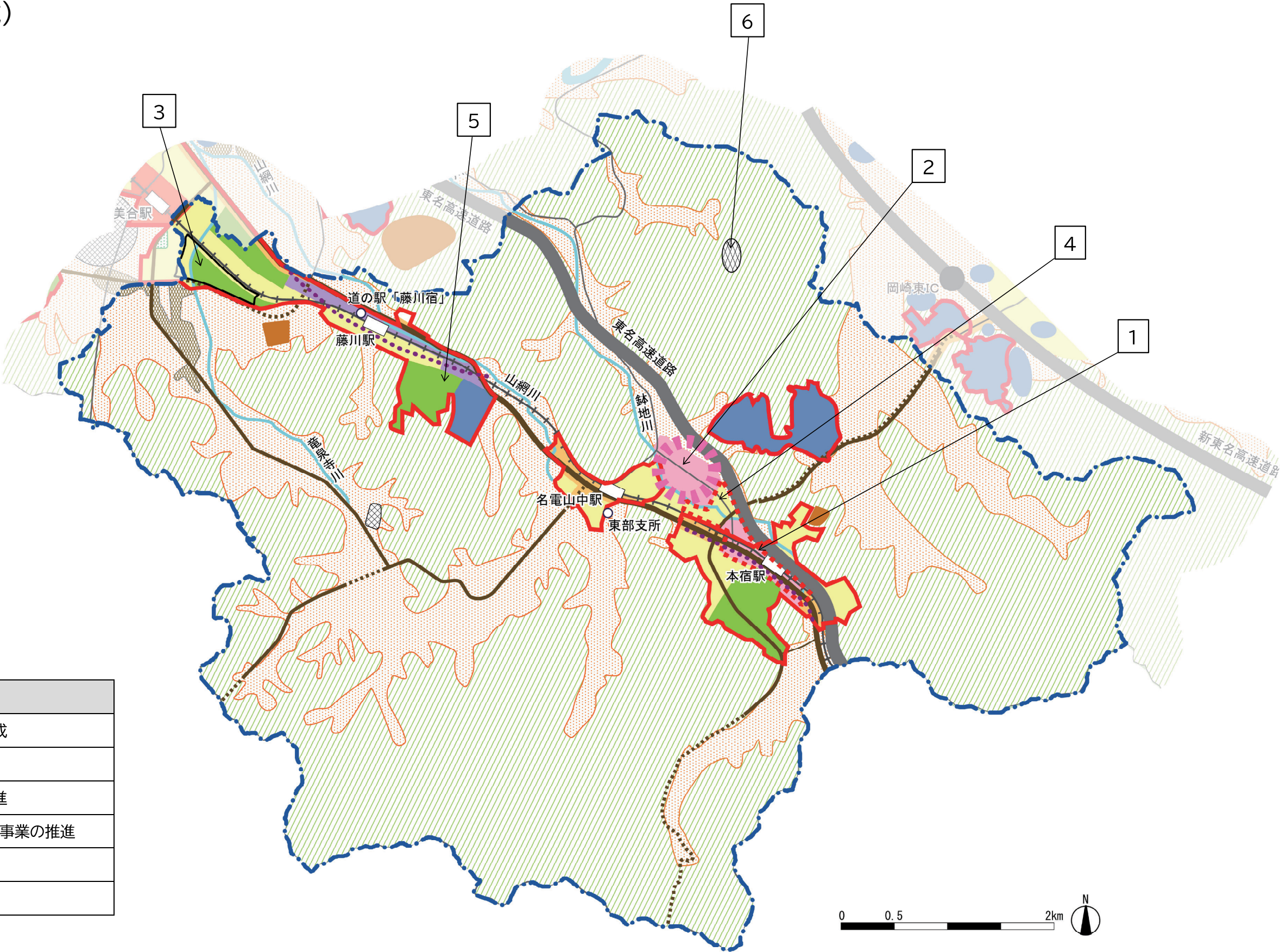
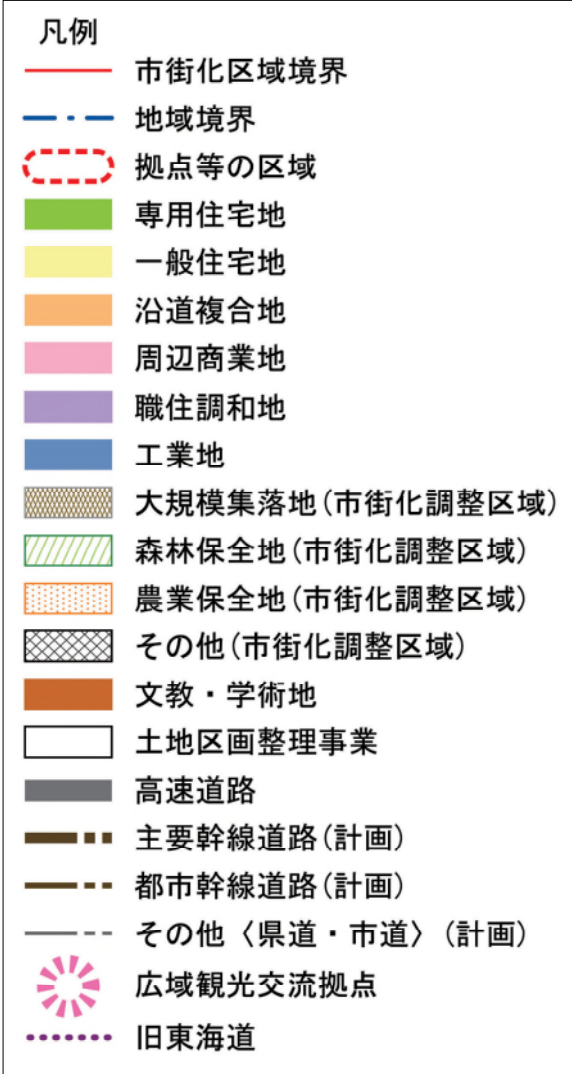
- ・森林の保全や災害防止施設の整備を促進し、土砂災害の防止に努めます。

3 復興事前準備の取組みの推進 目標5

災害に備える体制の検討

- ・市民や事業者などとともにまちの防災性を向上させる取組みを促し、災害に強く早急な復旧・復興ができる体制を検討します。

まちづくり構想図(東部地域)



No	施策・事業
1	広域観光交流拠点と連携した拠点形成
2	広域観光交流拠点の形成
3	岡崎蓼川南部土地区画整理事業の促進
4	(仮称) 岡崎本宿・池舞土地区画整理事業の推進
5	良好な住宅地の形成
6	北山湿地の保全